

組織のさらなる連携を 賀詞交歓会に34人参集 県コンクリート製品協組

千葉県コンクリート製品協同組合の「2026年新年賀詞交歓会」が16日、千葉市内の京成ホテルミラマーレ8階「オーキッド」で開かれ、来賓を含めて総勢34人が出席した。あいさつに立った寺田裕之理事長（株アラク）は、高市早苗・自由民主党総裁が第1

プ。主な調査項目は、公共下水道事業における実績、対応可能な業務範囲、当該事業への関心、想定する業務内容、事業期間、高瀬下水場内の他事業とのリスク分

で対応することは困難」とし、大規模太陽光発電事業を国策として推進してきたことを踏まえ、地域の実情に即して積極的に関与するよう求めている。

法で定める災害のうち、社会的要因により発生する事故災害を対象とした「地域防災計画」の修正案をまとめた。2019年9月に発生した房総半島台風による大規模停電の教訓を踏ま

「画」を新設。大規模停電の予防として、町管理施設敷地内および街路沿いの樹木のうち強風による倒木が想定される樹木の調査、当該樹木の伐採、社会福祉施設への非常電源の整備などを推

また、大規模停電発生時における電力の早期復旧に向けた、優先復旧すべき重要施設として、医療施設、福祉施設、指定避難所、町災

修正案にツクコメント。意見書便、ファクスにより、総務出する。

りなどを地域進め、早期のめ、勉強会を参加希望者務める實治雄

祝辞を述べる中小企業団体中央会の齊藤専務理事



また、コンクリートの価値・役割に言及した上で、「社会からの理解を深めるため、業界として正しい情報を発信し、長期的な視点で仕事の意義を伝えること

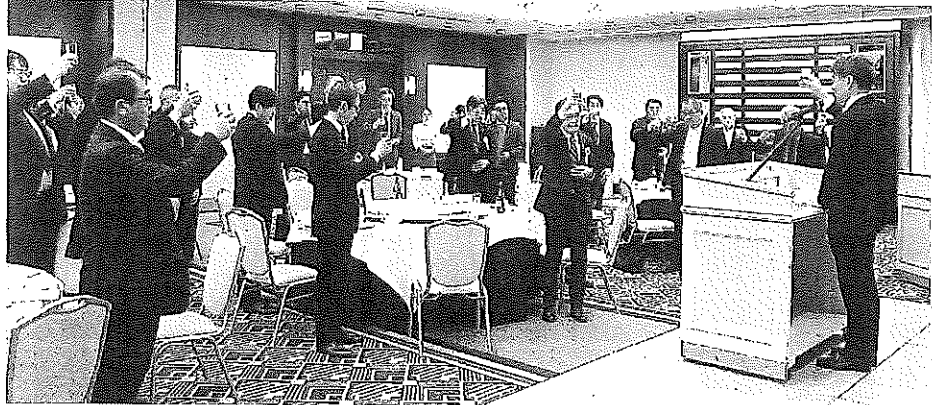
も組合の大切な役割」と語った。来賓を代表し、千葉県中小企業団体中央会の齊藤専務理事が祝辞を述べた。

「成田空港と地域の繁栄を目指す有志の会」(会長 山崎和敏・安藤産業代表取締役)は「成田空港第2の開港プロジェクト」と

命教授▽質疑応答▽閉会の辞▽副会長。司会・進行は、飯田武之副会長(多古町商工会会長)が務める。

【神谷俊一・一】会員のみなあり、昨年度立小中学校にの洋式化に締今年度は市立

04代内閣総理大臣に就任したことに触れ、「国の政策が大きく動く時代において、これまで以上に業界・団体各組織の情報共有と連携が必要」と強調。「厳しい競争環境の中、変化を的確に捉えた確かな仕事を積み重ねることも、県のインフラ整備を支え、自然災害に対して迅速に対応すること、県民の安心・安全に貢献する」との考えを示した。



乾杯の発声は関東コンクリート製品協会の永吉副会長が務めた

乾杯の発声は、関東コンクリート製品協会の永吉哲郎副会長が務めた。

次第は▽(仮称)『エアポートシティ』構想の実現に向けて(概要説明)▽椎名正明・県総合企画部次長▽(仮称)「成田空港第2の開港プロジェクト」など

有志の会が描いた「成田空港圏みらいのカタチⅢ」が実現に近づいていることを踏まえ、「成田空港のさらなる機能強化」と「26年度圏央道供用開始」に合わせた成田空港圏のまちづく

【神谷俊一・一】会員のみなあり、昨年度立小中学校にの洋式化に締今年度は市立

神谷市

県空荷

たい」などとする謝辞を述べた。

吉澤事務所の長が発声で全員が乾杯し、各企業は新年のあいさつとともに、交流を深め意見を交わした。

受賞者は次の通り。

▽受賞者Ⅱ
①所属②勤続年数Ⅲの

ⅢⅡ①大城組

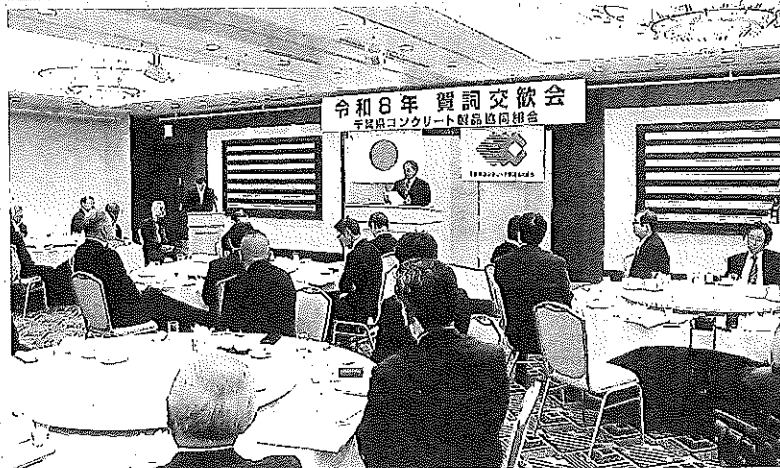
ⅢⅡ①上條建

ⅢⅡ①京成建設

ⅢⅡ①同②23年

さらなる業界発展目指す

県コン製品組合が賀詞会



約30人が一堂に会し、新年の意気込みを語り合った

県コンクリート製品協

同組合(県コン製品組合

寺田裕之理事長)は16日、

千葉市内のホテルで賀詞

交歓会を開催した。県中

小企業団体中央会の斉藤

清専専務理事をはじめとし

た多数の来賓と組合員ら

あわせて約30人が集い、

コンクリート製品業界の

さらなる発展と「未来」

に向けて、士気を高めて

いる。

寺田理事長は、大きな

転換期を迎えようとして



寺田理事長



関東コンクリート製品協会の永吉副会長が乾杯の音頭

展に向けて現状を刷新していきたくと抱負を述べている。

来賓を代表して登壇した県中小企業団体中央会の斉藤専務理事は、エネルギー価格や原材料費、人権費の高騰により企業収益が悪化するともに、人手不足や後継者難など対応すべき課題が山積みとなっている中小企業を取り巻く環境を語り、組合と中央会でこれまで力をあわせて歩んできた足跡を振り返った。続けて、県内唯一の中小企業との連携組織で支援機関である中央会が創立70周年の節目を迎えたことに触れ、国・県の理解を得ながら、さまざまな支援に力を注いでいきたいと結んでいる。

画着手

野田市

行して進めることが望ましいこと、学校プールの在り方について、さらに詳細な検討が必要であることなどが指摘された。

直ちに事業化を図るの



計条件などを整理してもらう。解体設計は、庁内でまとめることを想定している。



斉藤専務理事

いる昨今の社会情勢に言及すると、先行きの不透明さに対して「こうした時代だからこそ、われわ

基本計画の策定にあたっては、市内の小中学校全ての利用は立地などの観点からも課題が多いため、新水泳場への集約だけでなく、複数学校での共同利用や、他施設との複合化などの他の方法と合わせて効率的な学校プールの在り方を検討する。

船橋に新倉庫

10月の竣工を見込んでい

総合設備の設計・施工

土木工事の設計・施工

浄化槽設備の保守・点検

消火設備の設計・施工

More Comfortable & More Safety

WOOD TEC

きれいな水と空気
そして安全な暮らしを考えます。

ウッドテック株式会社
千葉県印西市小林 3990-1
TEL : 0476-97-2551 FAX : 0476-97-2559
URL : <http://www.wood-tec.co.jp>

印西・千葉
東京・成田